

社

第 1 日
社 会

(10:40~11:30)

注 意

- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから14ページに、問題が[1]から[4]まであります。
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

1 ある学級の社会科の授業で、「私たちの生活と交通の発達」というテーマを設定し、班ごとに分かれて学習しました。次の会話はそのときのものです。あとの1～5に答えなさい。

中山：先週、親戚の家に行ったのだけど、新しく①高速道路ができていて、以前は渋滞していた道路を通らずに行くことができたから、とても早く着いたよ。

池田：高速道路が整備されると便利になるよね。

西村：便利と言えば、この前、父が、②新幹線もずいぶん整備されて、日帰りできる都市が増えたとって言ってたよ。

池田：早く移動できるというだけではなく、自動車や鉄道、③航空機、船舶といったそれぞれの④移動手段の特徴を生かした使い分けによって、さらに便利に移動できるよね。

中山：そうだね。資料を集めて整理し、⑤「私たちの生活と交通の発達」について、現在どのような取り組みが行われているか、考えていこうよ。

1 下線部①に関して、中山さんの班では、高速道路について調べ、次の地形図Iを見付けました。中山さんの班では、この地形図Iを見て、高速道路が扇状地で弧を描くように通っていることに興味をもち、調べて下のようにとまとめました。中山さんの班のまとめの中の□に当てはまる適切な語は何ですか。地形図Iを基に書きなさい。

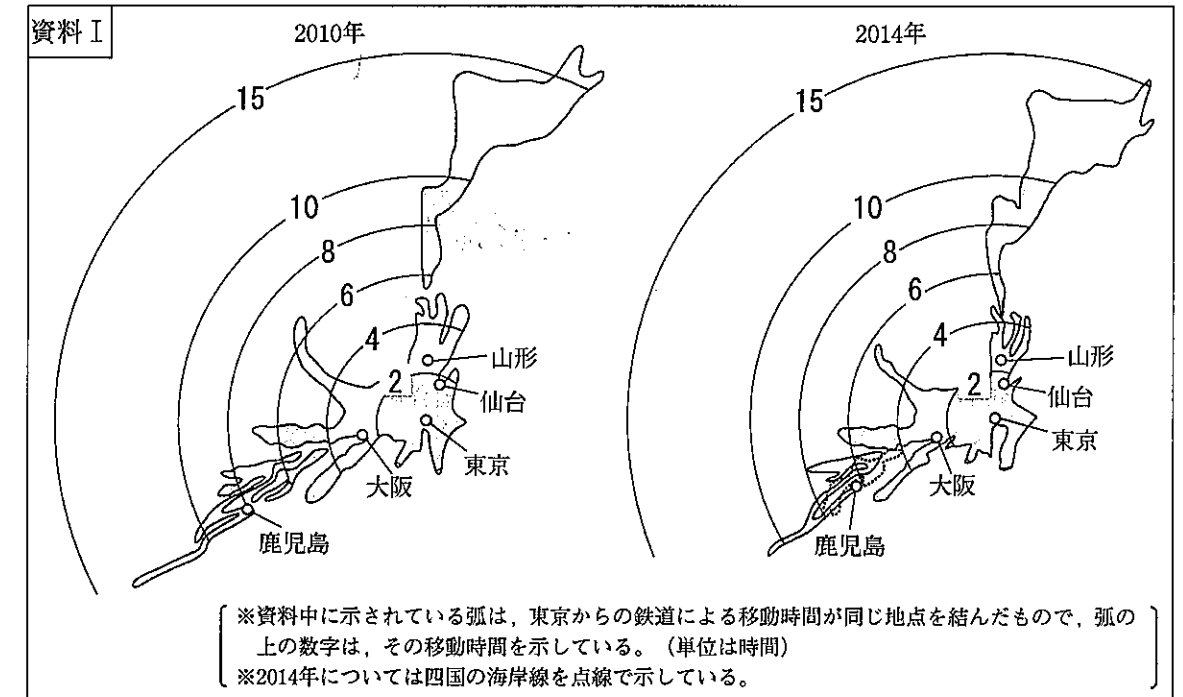
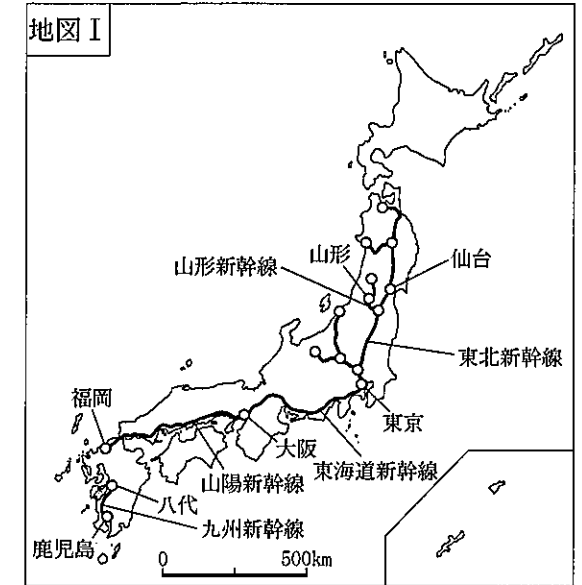


(国土地理院 地理院地図により作成。)

中山さんの班のまとめ

地形図I中の高速道路が扇状地で弧を描くように通っているのは、道路の高低差を小さくするために、扇状地の地形に合わせて、□に沿ってつくられているからである。

2 下線部②に関して、新幹線をはじめとする鉄道網の整備にともない、都市間の移動時間は大幅に短縮しました。右の地図Iは、2010年までに開業している新幹線の路線を示しています。下の資料Iは、2010年と2014年について、東京を起点に全国の各都市に到着するまでの鉄道による移動時間を、地図上の距離に置き換えて日本列島を変形させて示したものです。中山さんの班では、地図Iと資料Iを基に、2010年と2014年にかけて生じた、東京から山形、仙台、大阪、鹿児島までの鉄道の発達による移動時間の変化について、下のようにとまとめました。中山さんの班のまとめの中の□に当てはまる都市名は何ですか。その都市名を書きなさい。また、□にはどのような内容が当てはまりますか。その内容を簡潔に書きなさい。



中山さんの班のまとめ

2010年から2014年にかけて生じた、東京から山形、仙台、大阪、鹿児島までの移動時間の変化を比較すると、□以外の三つの都市までの移動時間はあまり短縮していないのに、□までの移動時間は大きく短縮していることが読み取れる。この違いは、□のために生じたものであると考えられる。

3 下線部③に関して、中山さんの班では、ある航空会社の国際線の主な航空路線について調べ、次の資料Ⅱを見付けました。中山さんの班は、資料Ⅱを見て、この航空路線の往路と復路とは、同じ経路で同じ距離を飛行しているのに、平均飛行時間に違いがあることに疑問をもち、さらに調べ、その理由を、地図Ⅱを基に、自然条件に触れて下のようによまとめました。中山さんの班のまとめの中の に当てはまる適切な語を書きなさい。

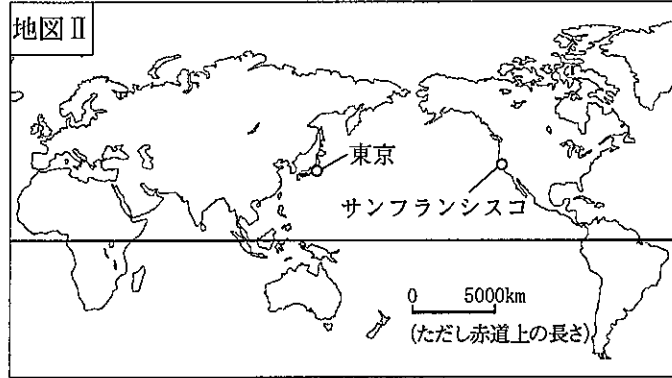
資料Ⅱ

都市間の平均飛行時間

〔往路〕
東京発 → サンフランシスコ着
約9時間20分

〔復路〕
サンフランシスコ発 → 東京着
約11時間20分

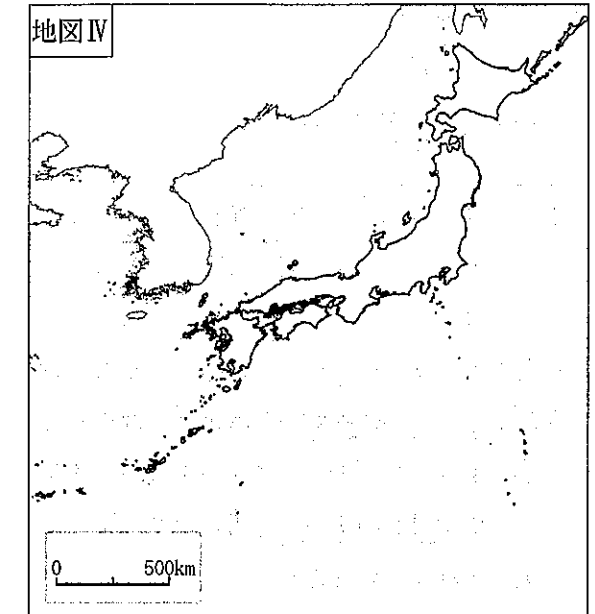
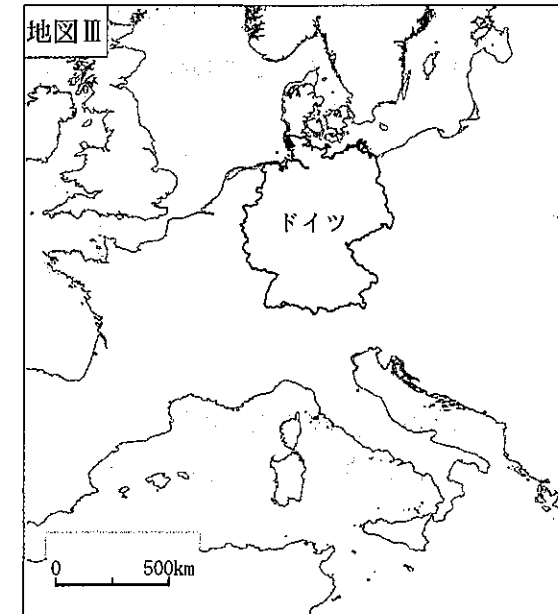
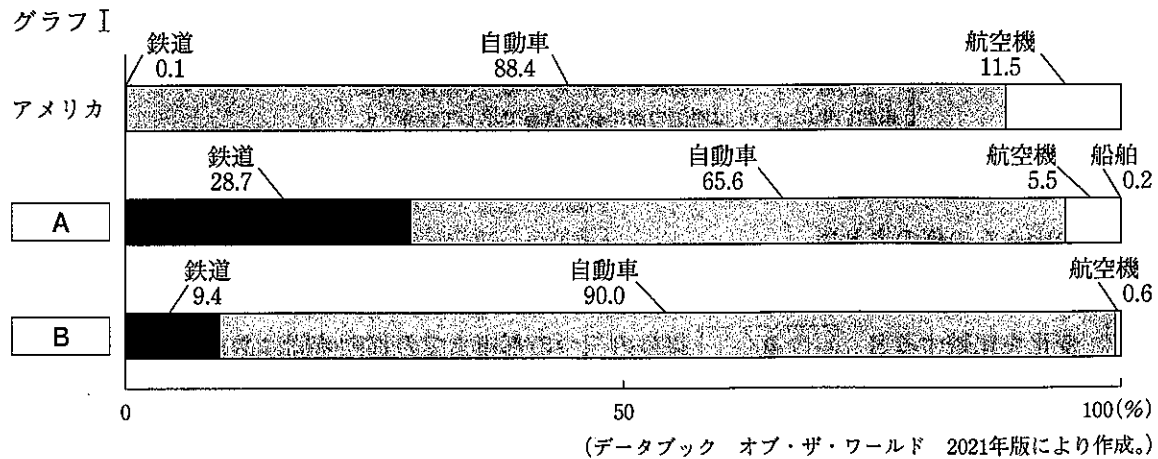
※往復の飛行経路と飛行距離は同じものとする。



中山さんの班のまとめ

東京・サンフランシスコ間の航空路線の往路と復路の平均飛行時間に約2時間の違いがあるのは、自然条件として の影響があるためと考えられる。

4 下線部④に関して、中山さんの班では、2009年のアメリカ、ドイツ、日本のそれぞれの国において、人が国内を移動する際に利用する主な交通機関の割合を調べ、次のグラフⅠを作成しました。グラフⅠ中の A と B のうち、日本が当てはまるのはどちらですか。その記号を書きなさい。また、その記号を選んだ理由を、あとの地図Ⅲ・Ⅳを基に簡潔に書きなさい。



(地図Ⅲ・Ⅳは面積が正しくあらわされています。)

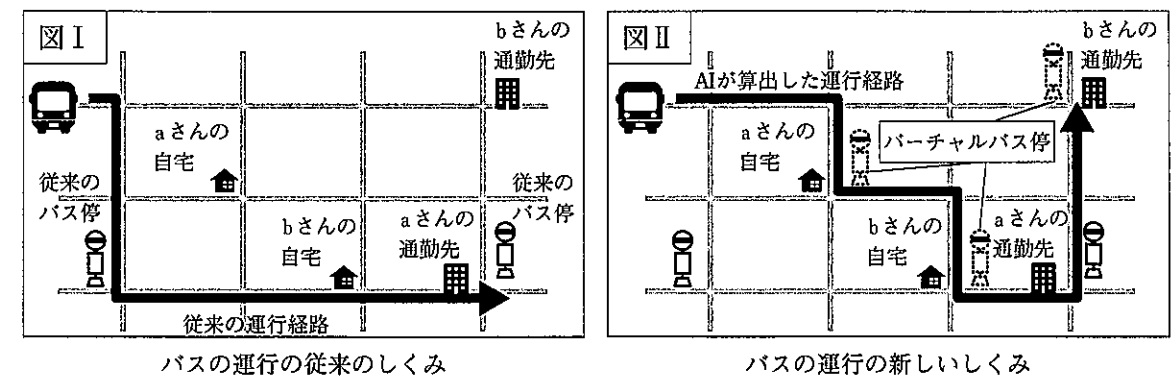
5 下線部⑤に関して、中山さんの班では、X市が、バスの運行に新しいしくみを取り入れることによって経済の活性化を目指していることについて調べ、次の表Ⅰと図Ⅰ・Ⅱを作成しました。バスの運行に新しいしくみを取り入れることによるバスの利用者と運行会社の、それぞれの立場からの利点は何ですか。表Ⅰと図Ⅰ・Ⅱを基に、利用者の立場からの利点は「便利」の語を用いて、運行会社の立場からの利点は「効率的」の語を用いて、それぞれ具体的に書きなさい。

表Ⅰ バスの運行の従来のしくみと新しいしくみの比較

	バスの運行の従来のしくみ	バスの運行の新しいしくみ
運行経路	決まった経路で運行。	利用者の予約状況に応じて、AI(人工知能)が算出した経路で運行。
運行間隔	1日3便、決まった時刻に運行。	利用者の有無や利用区間に合わせて運行。
乗車方法	利用者は、22か所のバス停のうち、最寄りのバス停で乗車。	利用者は、スマートフォンや電話で予約し、希望時刻に、従来のバス停にバーチャルバス停を加えた185か所のバス停のうち、最寄りのバス停で乗車。

バーチャルバス停：実際のバス停はなく、予約すると乗り降りできる場所

利用者の自宅と通勤先への移動モデルの比較



2 ある学級の社会科の授業で、「私たちの生活と経済との関わり」というテーマを設定し、班ごとに分かれて学習をしました。木下さんの班では、身の回りの財の価格やサービスの料金について話し合いました。次の会話はそのときのものです。あとの1～4に答えなさい。

木下：去年の12月にケーキを作ろうとしてイチゴを買ったのだけど、5月にイチゴを買ったときよりもずいぶん高くってちょっと驚いたよ。同じものなのに、どうしてこんなに価格が違うのだろう。

井上：イチゴはもともと春のものだから、季節が関係あるのかな。

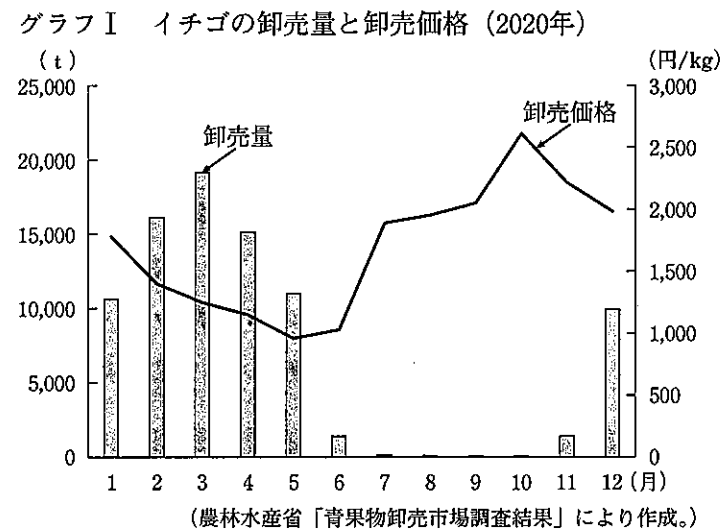
中西：①イチゴの価格がどのように変化しているか調べて、その変化の理由を考えてみようよ。

木下：そうだね。でも、イチゴと違って季節と関係ないものもあるかもしれないよ。②様々な価格や料金の決まり方も調べてみようよ。

井上：それはいい考えだね。

中西：現実の社会では、価格を巡って様々な問題が生じていると聞くよ。③価格の決定にどんな問題があるのかについて考えると面白いと思うよ。

1 下線部①に関して、木下さんの班では、次のグラフIを見付け、それを基にイチゴの価格の変化について下のようにまとめました。木下さんの班のまとめの中の a と b に当てはまる語はそれぞれ何ですか。下のア～エの組み合わせのうちから最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。



木下さんの班のまとめ

イチゴの卸売量は、5月と12月で同じぐらいなのに、12月の卸売価格が高いのは、12月は5月よりもイチゴの a が b ためと考えられる。

- ア [a 需要量 / b 多い] イ [a 需要量 / b 少ない] ウ [a 供給量 / b 多い] エ [a 供給量 / b 少ない]

2 下線部②に関して、電気やガス、水道などの公共料金は、国や地方公共団体が認可や決定をしています。それはなぜですか。その理由を、簡潔に書きなさい。

3 下線部③に関して、木下さんの班では、企業による価格の決定にどのような問題点があるのかについて調べ、次の資料Iを見付け、それを基に下のようにまとめました。木下さんの班のまとめの中の A と B に当てはまる適切な語をそれぞれ書きなさい。

資料I

〔事例〕 アイスクリーム製造大手のX社は、小売店を巡回し、他の小売店よりも多く売ろうとして希望小売価格より安く売っている小売店に対し、X社の定める希望小売価格で売るように要請し、それに応じない小売店には、商品の出荷を停止していました。

木下さんの班のまとめ

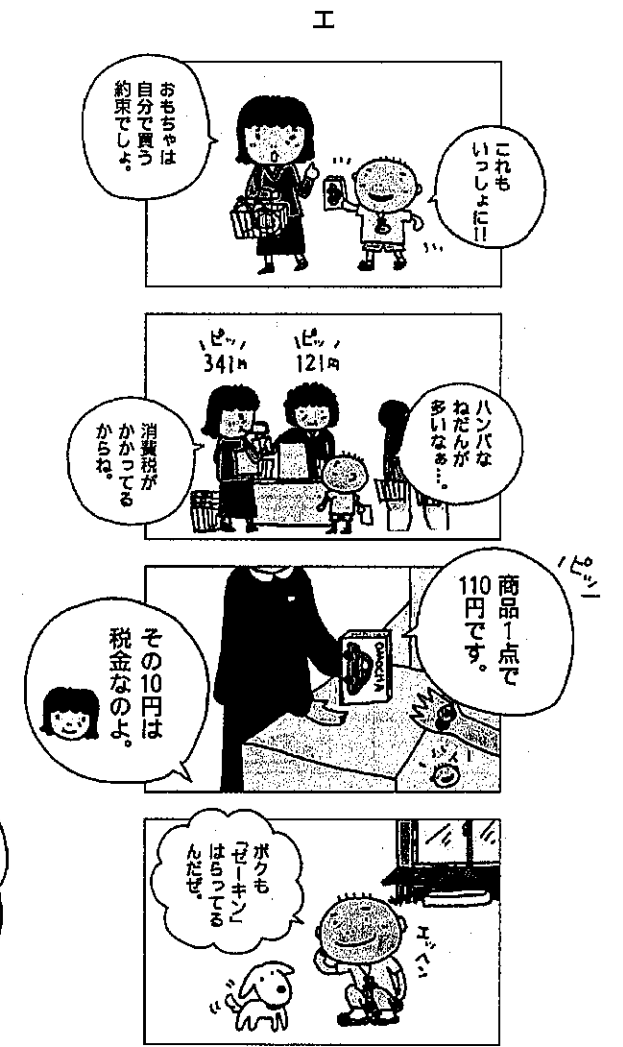
市場経済では、小売店は様々な工夫をして消費者により評価される商品を販売しようと努力する。この事例では、小売店は、多くの消費者を獲得するために、商品の価格を下げ販売する努力をしていたが、X社がそれを拘束することによって、小売店間の A が阻まれ、結果として消費者は価格によって小売店を選べなくなる。

この事例について、独占禁止法に基づいて監視や指導を行う機関である B は、調査を行い、不公正であると判断した。

4 木下さんの班では、よりよい消費生活を送るためのお金の使い方について学び、次のようなまとめを作成しました。このまとめについて学級で説明するために、資料として漫画を使うこととしました。あとのア～エのうち、どの漫画を使うのが最も適切ですか。その記号を書きなさい。

木下さんの班のまとめ

私たちのお金は有限な資源であるのに対して、私たちの欲求は無限であるから、私たちにとって、希少性のある財やサービスを選択することがよりよい消費生活につながると考えられる。



(金融広報中央委員会ウェブページにより作成。)



③ ある学級の社会科の授業で、日本の各時代の食生活に注目して時代の特色を考える学習を行いました。村田さんの班では、和食がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを知り、日本の各時代の食生活について調べ、次の表を作成しました。あとの1～6に答えなさい。

時代区分	日本の各時代の食生活に関する主なことがら
縄文時代	ドングリなどの木の実を土器で煮て食べるようになった。
弥生時代	①西日本から東日本へ稲作が広まった。
奈良時代	②貴族の食事に、全国の様々な特産物が使われた。
平安時代	貴族社会では、年中行事やもてなしのための料理が定着した。
鎌倉時代	③禅宗の影響により、魚や肉を用いない精進料理が発展した。
安土・桃山時代	南蛮貿易が始まり、パンやカステラなどが伝来した。
江戸時代	酒や④しょう油などの特産物が各地で生産され、流通した。
明治時代	都市を中心に⑤牛肉を食べることが広がった。
昭和時代	即席ラーメンなどのインスタント食品が開発・発売された。
平成時代	「⑥和食」がユネスコ無形文化遺産に登録された。

1 下線部①に関して、稲作が広まり、人々の生活や社会の様子も大きく変わりました。次のア～エのうち、弥生時代の日本の様子について述べた文として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

- ア 渡来人によって鉄製の農具や須恵器をつくる技術が伝えられた。
- イ 豊かな自然のめぐみを祈るために、土偶がつくられ始めた。
- ウ 王や豪族の墓として、前方後円墳がつけられた。
- エ 奴国の王が漢に使いを送り、金印を与えられた。

2 下線部②に関して、村田さんの班では、なぜ奈良時代の貴族が食事に全国の様々な特産物を使うことができたのかについて調べ、次の資料Ⅰを作成し、資料Ⅰと当時の統治のしくみを関連付けて、その理由を下のようにまとめました。あとの(1)・(2)に答えなさい。

資料Ⅰ 都の跡から見付かった木簡には、現在の千葉県からアワビ、石川県からサバ、山口県から塩などの特産物が都に集められ貴族に送られたことが記されている。

村田さんの班のまとめ
奈良時代は、。そのため、全国の特産物がとして都に集められたので、貴族が食事に使うことができたと考えられる。

(1) 村田さんの班のまとめの中のには、奈良時代の統治のしくみについて述べた内容が当てはまります。あとのア～エのうち、に当てはまる内容として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

- ア 天皇と、天皇から高い位を与えられた中央の有力な豪族が全国を支配し、地方には国司が置かれていた
- イ 天皇との血縁関係を深めた貴族が摂政・関白として権力を握り、地方政治は国司に任されていた
- ウ 幕府と藩によって全国の土地と民衆を統治する政治が行われていた
- エ 幕府が朝廷に迫って、国ごとに守護を、荘園や公領に地頭を置くことを認めさせていた

(2) 村田さんの班のまとめの中のには、税に関する語が当てはまります。に当てはまる語として最も適切なものを、次のア～エのうちから選び、その記号を書きなさい。

- ア 租
- イ 調
- ウ 庸
- エ 雑徭


3 下線部③に関して、村田さんの班では、この時代の禅宗の寺院でつくられていた料理について調べ、小麦を使う料理がつけられていたことを知り、このことに関わり、この時代の農業の特色について次のようにまとめました。村田さんの班のまとめの中のに当てはまる適切な語を書きなさい。

村田さんの班のまとめ

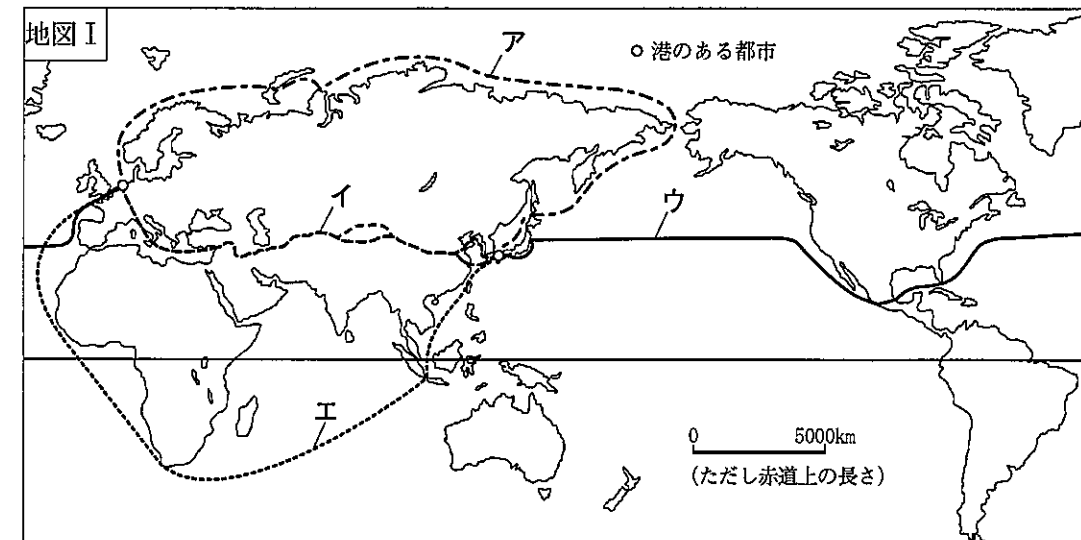
この時代は、農業の発達により、例えば、夏は米、冬は小麦というように、1年に二つの作物を異なった時期に同一の農地でつくるが広まった。

4 下線部④に関して、村田さんの班では、江戸時代のしょう油の流通について調べ、右の資料Ⅱを見付け、しょう油が右の資料Ⅱに示すようなびんに詰められてオランダを通じてヨーロッパに運ばれたことを知りました。下の地図Ⅰ中のア～エのうち、当時の日本からオランダにしょう油が運ばれた主な経路として最も適切なものはどれだと考えられますか。その記号を書きなさい。

資料Ⅱ



輸送の際、釜で沸かし、陶器のびんに詰めて密封することで、暑さによる腐敗や発酵を防ぎ、品質が落ちないようにした。
※びんに書かれている JAPANSCHZOYAは「日本のしょう油」の意味。



5 下線部⑤に関して、村田さんの班では、明治時代に生活様式が変化したことについて調べ、牛鍋を食べている様子を示した右の資料Ⅲを見付けました。このころ、生活様式が変化したことは、牛鍋のほかに、資料Ⅲのどのような点から読み取ることができますか。具体的に一つ書きなさい。

資料Ⅲ



6 下線部⑥に関して、村田さんの班では、日本の食文化である和食の価値が世界に認められたことを知り、和食について調べ、次の資料Ⅳ・Ⅴを見付け、和食を継承するための取り組みを提案することとしました。あなたならどのような取り組みを提案しますか。下の和食を継承するための取り組みの提案書を、条件1・2に従って完成しなさい。

資料Ⅳ

〔食文化としての和食の特徴〕

- A 豊かな自然と食材に恵まれ、季節感を感じ、自然を尊重する精神を育んできた。
- B 家族の食卓、地域の祭りや年中行事で、食を共にすることで、人のつながりが深まる。
- C 体によいものを求め、健康的な食文化をつくりあげた。
- D 風土の違いから、食材や調理法が変化し、食文化の多様性が生み出された。

(農林水産省ウェブサイトにより作成。)

資料Ⅴ

〔和食の危機の現状〕

- ・ファストフード店やファミリーレストランが各地に開店し、外食が日常化した。
- ・電子レンジの普及や冷凍食品、インスタント食品により、食生活は便利になったが、家庭内で調理をする機会が減った。

(農林水産省ウェブサイトにより作成。)

条件1 提案書中の和食の特徴の欄には、資料ⅣのA～Dのうち、提案する際に重点を置くものをいずれか一つ選び、その記号を書くこと。

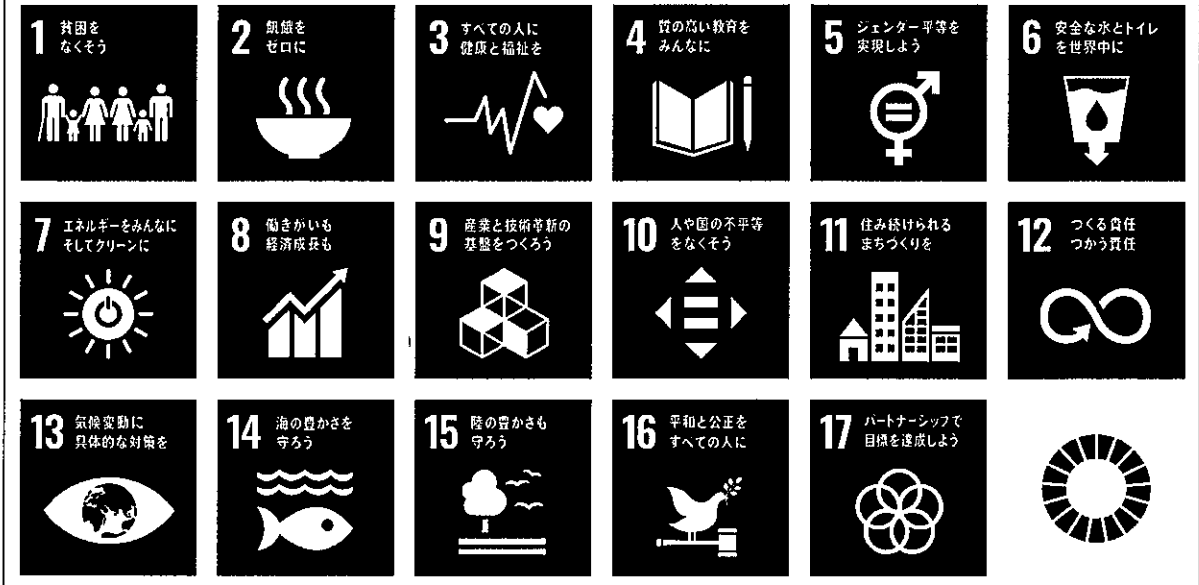
条件2 提案書中の取り組みの欄には、条件1で選んだ和食の特徴に重点を置き、資料Ⅴの内容を踏まえて、取り組みを具体的に書くこと。

和食を継承するための取り組みの提案書	
和食の特徴	
取り組み	

4 ある学級の社会科の授業で、「持続可能な社会を目指して、自分たちにできることを考える」というテーマで班ごとに分かれて学習をしました。次の資料Ⅰは、この授業のはじめに先生が提示した持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標であり、下の会話は、その資料を基に、山本さんの班が話し合ったときのものです。あとの1～3に答えなさい。

資料Ⅰ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(農林水産省ウェブサイトによる。)

山本：持続可能な社会を目指す上で、世界にはどんな課題があるかな。

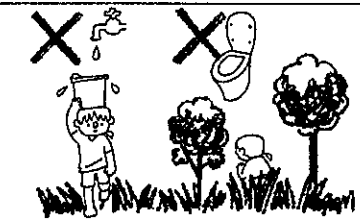
西川：右の図Ⅰのようなウェブページを見付けたよ。これを見ると、①世界には水道の設備がない暮らしをしている人や②衛生的なトイレが整っていない暮らしをしている人が多くいるのだね。

山本：じゃあ、私たちの班はSDGsの「6 安

全な水とトイレを世界中に」を取り上げ、どんな課題があるかを調べてみようよ。

中野：課題が分かれば、自分たちにできることも考えられるかもしれないね。

図Ⅰ

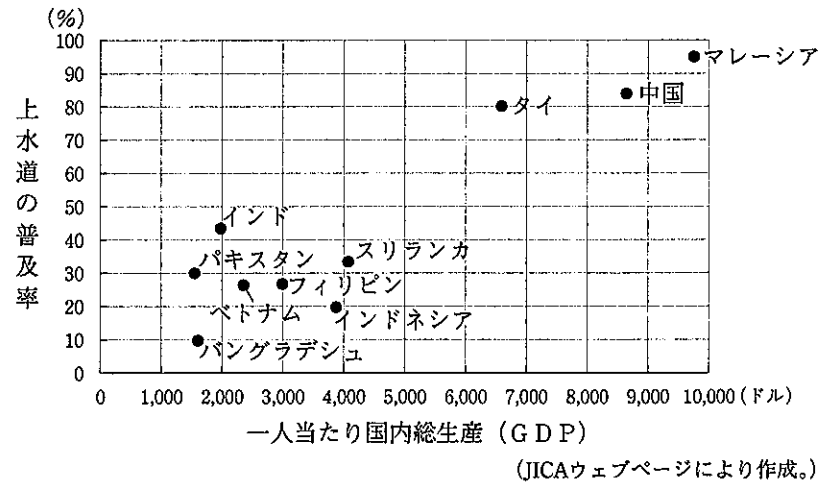


水道の設備がない暮らしをしている人は22億人です。
トイレがなく、道ばたや草むらなど屋外で用を足す人は6億7300万人です。

(日本ユニセフウェブサイトによる。)

1 下線部①に関して、山本さんの班では、世界の上水道の整備の様子を調べ、次のグラフⅠを見付けました。山本さんの班では、グラフⅠを見て、資料Ⅰ中の「6 安全な水とトイレを世界中に」の目標を達成するためには、資料Ⅰ中の「1 貧困をなくそう」の目標を達成することが必要ではないかと考え、その理由を説明しました。山本さんの班の説明はどのようなものだと考えられますか。グラフⅠを基に簡潔に書きなさい。

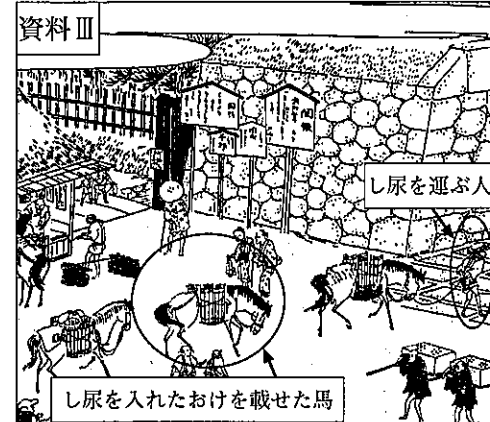
グラフⅠ 2017年のアジアの主な発展途上国の上水道の普及率と一人当たり国内総生産（GDP）



2 下線部②に関して、山本さんの班では、日本の排水やトイレについて調べ、明治時代の初めの東京の様子について述べた次の資料Ⅱを見付けました。山本さんの班では、この資料Ⅱを見て、このころの日本が衛生的であったことを知り、その理由について考えるために、江戸時代の衛生の状況について調べ、江戸の市内の通りの様子を示した次の資料Ⅲを見付けました。そして、資料Ⅲを基に、江戸の市内の衛生について下のようにまとめました。山本さんの班のまとめの中の **A** と **B** に当てはまる適切な内容をそれぞれ書きなさい。

資料Ⅱ
東京の死亡率がボストンのそれよりもすくないということを知って驚いた私は、日本の保健状態について、多少の研究をした。それによると、日本には赤痢などは全く無く、（中略）我が国で悪い排水や不完全な便所その他に起因するとされている病気の種類は日本には無いが、あっても非常にまれであるらしい。
赤痢：病気の名称

（モース「日本その日その日」により作成。）



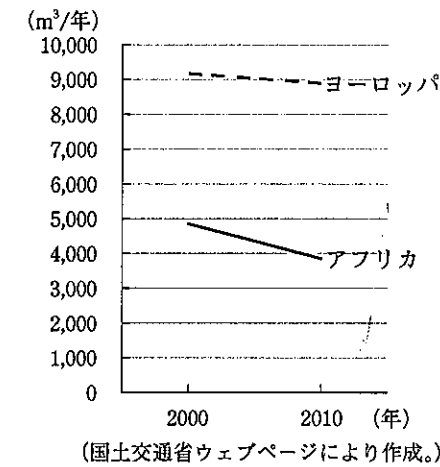
（「江戸名所図会・上」により作成。）

山本さんの班のまとめ

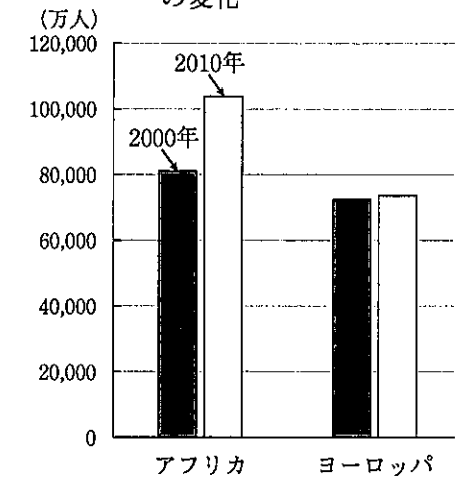
江戸の市内の人々のし尿を **A** として利用するために、 **B** ことから、江戸の市内は極めて清潔であった。このことにより、伝染病は少なかった。

3 山本さんの班では、世界の水資源について調べ、次のグラフⅡを見て、アフリカはヨーロッパに比べ、一人当たりの利用可能な水の量が大幅に少なくなっていることに気づき、さらに調べて、今後、アフリカの水不足が深刻になると懸念されていることについて、次のグラフⅢと表Ⅰを基に、下のようにまとめました。山本さんの班のまとめの中の **a** と **b** に当てはまる語はそれぞれ何ですか。あとのア～エの組み合わせのうちから最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。また、山本さんの班のまとめの中の **c** にはどのような内容が当てはまると考えられますか。適切な内容を書きなさい。

グラフⅡ アフリカとヨーロッパの一人当たりの利用可能な水の量の変化



グラフⅢ アフリカとヨーロッパの人口の変化



表Ⅰ アフリカとヨーロッパの国内総生産（GDP）の変化とその増加率

	2000年（億ドル）	2010年（億ドル）	2000～2010年の増加率（%）
アフリカ	6,552	19,698	200.6
ヨーロッパ	97,012	198,896	105.0

（FAOウェブサイトにより作成。）

山本さんの班のまとめ

アフリカは、ヨーロッパに比べ、人口が大幅に **a** していることから、一人当たりの利用可能な水の量が少なくなっていることに加え、国内総生産が大幅に **b** しているので、 **c** と予想されることから、今後、水不足が深刻になることが懸念される。

ア $\begin{cases} a & \text{増加} \\ b & \text{増加} \end{cases}$ イ $\begin{cases} a & \text{増加} \\ b & \text{減少} \end{cases}$ ウ $\begin{cases} a & \text{減少} \\ b & \text{増加} \end{cases}$ エ $\begin{cases} a & \text{減少} \\ b & \text{減少} \end{cases}$